

2025 年 度

通 常 総 会 議 案

総 会 次 第

審議事項：

- | | |
|---------|------------------|
| 第 1 号議案 | 2024 年度事業報告（案） |
| 第 2 号議案 | 2024 年度決算報告（案） |
| 第 3 号議案 | 2025 年度支部役員改選（案） |

報告事項：

- 報告事項 1. 会員数の推移
- 報告事項 2. 2025 年度事業計画
- 報告事項 3. 2025 年度正味財産増減予算書

大地と語らい 未来をつくる



公益社団法人 地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 ストークビル天満橋 801 Tel : 06-6946-0393 Fax : 06-6946-0383 <http://www.jgskb.jp/>

目 次

2024 年度の主な動き	1
--------------	---

審議事項

第 1 号議案 2024 年度事業報告（案）	3
第 2 号議案 2024 年度決算報告（案）	1 2
第 3 号議案 2025 年度支部役員改選（案）	1 6

報告事項

報告事項 1. 会員数の推移	1 7
報告事項 2. 2025 年度事業計画	1 9
報告事項 3. 2025 年度正味財産増減予算書	2 2

資 料

1. 歴代支部長・副支部長・幹事長名簿	2 3
2. 2024 年度支部役員構成	2 4
3. 特別会員特典	2 5
4. 関西支部特別会員名簿	2 6

2024 年度の主な動き

地盤工学会は、2010 年 11 月 1 日に公益社団法人地盤工学会として登記され、地盤工学の進歩や地盤工学に関わる技術者の資質向上を図るとともに、公益性を意識して活動を行うことが求められています。これを受けて、地盤工学会は、(1)学術技術の進歩への貢献、(2)技術者の資質向上、(3)社会への貢献の 3 つの目的を掲げて活動しています。この目的に沿うべく、関西支部では 2024 年度に以下の活動を行いました。

(1) 学術技術の進歩への貢献

- ・ 研究委員会活動
 - ・ 夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会（継続）
 - ・ 斜面災害リスク軽減のための 4D 多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会（継続）
- ・ 地域地盤研究会（福井・滋賀・和歌山）

(2) 技術者の資質向上

- ・ 総会時特別講演会（4/26 開催）
- ・ 令和 6 年度施工技術報告会（2/13 開催）
- ・ 現場見学会-新名神高速道路 宇治田原トンネル・城陽スマート IC・城陽高架橋-（7/9 開催）
- ・ 講演会 洋上風力事業の基盤となる地盤工学
～ 海底地盤を対象とした技術とイノベーション～（8/27 開催）
- ・ 2024 年度 地盤工学会誌 連載講座 「Shall we start データ駆動地盤工学？ ～ベイズ・機械学習を中心として～」を学ぶ講習会（7/31, 11/12, 2/20 開催）
- ・ 第 15 回若手セミナー（11/22 開催）
- ・ 第 66 回実技セミナー（6/5 開催）
- ・ *Kansai Geo-Symposium 2024* ―地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム―
(11/29 開催)
- ・ 阪神・淡路大震災から 30 年 講演会（12/13 開催）
- ・ 表彰事業（地盤工学会関西支部賞）

(3) 社会への貢献

- ・ 出前授業 計 2 回
- ・ 学生対象現場見学会 計 3 回
- ・ ふるさと地盤診断ウォーク 計 2 回

昨年度に引き続き、ほとんどの行事を対面で実施することができ、行事参加者間の交流・情報交換の円滑化を促すことができました。また、参加者の利便性を考慮し、可能な行事についてはオンライン形式を併用したハイブリッド形式にて実施いたしました。

斜面災害のリスク低減および夢洲の地盤工学的課題の解決に関連した委員会活動を進めるとともに、データサイエンスの基礎や洋上風力発電といった時宜を得たテーマ、および設計・施工に関連する行事を数多く実施し、好評を得たことが本年度の活動の特徴と言えます。夢洲の地盤工学的課題の解決に向けて設置された研究委員会は、地盤構造の不均質性や下部洪積層の沈下等の問題の解明、対策方法の提案等に取り組んでおり、学術的な観点から事業の円滑な実施に貢献することが期待されます。また、継続的に研究されてきた斜面災害リスク低減に関する提案を実行に移すべく、新たなハザードマップの構築と利活用方法について実践を交えた研究活動を行っています。

若手の技術者や研究者が十分な専門知識を身に受けられるよう、地盤工学の基礎をテーマ毎に学べる機会を提供する場として、2015 年度に企画を一新した「若手セミナー」は、本年度もベテラン技術者と若手の融合を目的とした形態で実施し、多数の参加者から好評を頂きました。この他にも、地盤工学におけるデータ解析の基礎的な事項について学ぶことができる基礎講座、地盤改良工法の原理・設計・施工を学ぶ第 66 回実技セミナーを開催し、技術者や研究者の資質向上に供することに努めてきました。

「地盤の環境・計測技術に関するシンポジウム」のテーマを拡張する形で、2013 年度から開催された Kansai Geo-Symposium は 12 回目を迎えました。本年度は、前年度までのオンラインと対面のハイブリッド形式から対面参加のみの参加形態に戻し、104 名の参加者を得ました。Kansai Geo-Symposium は産官学の研究者と技術者が研究発表を行い、互いの技術力向上をはかるプラットフォームとして、関西支部の一大イベントとして位置づけられています。

さらに、2025 年 1 月 17 日で阪神・淡路大震災から 30 年の節目を迎えるにあたり、特別講演会「阪神・淡路大震災から 30 年（主催：土木学会関西支部）」を共催しました。土木工学やライフラインに関係する産官学の各団体が進めてきた、防災・減災や復興にかかわる事業や研究などの社会貢献活動の中で培った、『災害から学び得たこと』・『新しい技術を活用した未来の災害対策』についての講演を実施し、400 名の参加者にご参加いただきました。

以上ように、関西支部では、多様な企画を実施することにより、会員サービスの拡充を図っているところです。今後とも関係各位の一層のご支援とご協力をお願い致します。

第1号議案 2024年度事業報告（案）

1. 2024年度事業報告（案）

1. 1 一般行事報告

2024年度は次のような行事を実施した。

講演会	3回	報告会	1回
講習会	3回	若手セミナー	1回
見学会	1回	実技セミナー	1回
シンポジウム	1回		

それぞれの詳細は以下に記載するとおりであり、ご協力を賜った関係各位に厚く御礼申しあげる。

【1】講演会

① 総会時特別講演会

日 時：2024年4月26日(金) 16:00～16:50

会 場：ドーンセンター ホール（オンライン配信あり）

内容と講師：「モニタリングにおける光の利用とその展望」

芥川 真一（(公社)地盤工学会関西支部 2023年度支部長）

参加人数：103名

② 講演会「洋上風力事業の基盤となる地盤工学 ～ 海底地盤を対象とした技術とイノベーション～」

日 時：2024年8月27日(火) 14:00～17:30

会 場：オンライン（台風の影響により対面からオンライン開催に変更）

内容と講師：「洋上風力の地盤調査の現状と課題」

深沢 健（三菱商事洋上風力㈱）

「洋上風力発電開発における地盤調査」

田中 淳（基礎地盤コンサルタンツ㈱）

「海底地盤でおきるジオハザード」

岩井 裕正（京都大学）

「サクシオンバケット基礎の紹介」

傳 亮司（東洋建設㈱）

参加人数：60名

③ 阪神・淡路大震災から30年

日 時：2024年12月13日(金) 13:00～17:00

会 場：常翔ホール

内容と講師：「過去の地震被害を教訓とした耐震技術の変遷」

高橋良和（京都大学大学院工学研究科）

「災害に備える【災害協定関西地区連絡会から】」

小池信司（神戸市建設局）

阿部 俊（NTT インフラネット(株)関西事業部）

「未来の災害対応を考える【ビッグピクチャー『災害』の発表】」

シビルアカデミー第2期生

「デジタルツインと防災」

飯塚 敦（中央大学研究開発機構）

参加人数：400 名

【2】報告会

令和6年度施工技術報告会「最近の建設・保全・環境技術と施工事例」（共催行事）

日 時：2025年2月13日（木）13:30～16:50

会 場：建設交流館 8F グリーンホール

報告件数：9 件

内容と講師：

開会挨拶 木村 博規（（公社）地盤工学会関西支部 支部長）

技術報告発表

- ①「地下函体上に建設された都市高速道路鋼製基礎の大規模更新」
ー湊町・難波地区鋼製基礎大規模更新工事ー
富留宮 直（（株）鴻池組 湊町・難波地区鋼製基礎大規模更新工事事務所）
 - ②「高速道路工事における VR・3D シミュレーションの活用について」
ー新名神高速道路 梶原トンネル工事ー
上仲 亮（清水建設（株）関西支店 新名神梶原トンネル工事）
 - ③「大阪・関西万博に向けた埋立て地盤での開削トンネルと泥土圧シールドの施工」
ー北港テクノポート線インフラ部整備工事ー
足立 嘉朗（（株）大林組）
 - ④「重交通交差点直上における PC 箱桁橋の撤去」
ー阪神高速 14 号松原線 喜連瓜破橋大規模更新工事ー
島田 哲治（大成・富士ピーエス・MMB 異工種建設工事共同企業体）
 - ⑤「生まれ変わった大阪の玄関口」
ー阪神大阪梅田駅改良および東西地下道拡幅工事ー
吉村 祐哉（（株）奥村組 阪神梅田工事事務所）
 - ⑥「トンネル直上家屋に対する制御発破の検討と適用結果」
ーすさみ串本道路和深西トンネル工事ー
西村 正生（（株）熊谷組 関西支店 和深西トンネル作業所）
 - ⑦「3D スキャナ計測による覆工コンクリートの巻厚管理」
ー奥瀬 1 号トンネル工事ー
京免 継彦（佐藤工業（株） 技術センター ICT 推進部）
 - ⑧「狭隘部における鋼製地中連続壁の施工」
ーなにわ筋線西本町駅部土木工事ー
米澤 伸祐（（株）銭高組）
 - ⑨「平板型 UFC 床版による床版更新での急速化」
ー阪神高速 3 号神戸線床版更新工事（神-S360）ー
坂本 真（鹿島建設（株） 関西支店 新名神樟葉工事事務所）
- 閉会挨拶 深川 良一（（一社）日本建設機械施工協会関西支部 支部長）

参加人数：142 名

【3】講習会

2024 年度 地盤工学会誌 連載講座 「Shall we start データ駆動地盤工学？～ベイズ・機械学習を中心として～」を学ぶ講習会（第 1 回）ーベイズって何？いいモデルって何？ー

日 時：2024 年 7 月 31 日(水) 14:00～19:00

会 場：ドーンセンター 大会議室（Zoom によるオンライン併用）

内容と講師：

開会挨拶

講義①（基礎編）

藤澤 和謙（京都大学）

講義②（実践・演習編）

藤澤 和謙（京都大学）

閉会挨拶

交流会

参 加 人 数：30 名

2024 年度 地盤工学会誌 連載講座 「Shall we start データ駆動地盤工学？～ベイズ・機械学習を中心として～」を学ぶ講習会（第 2 回）

ーMCMC（マルコフ連鎖モンテカルロ）は 確率統計における FEM（有限要素法）やー

日 時：2024 年 11 月 12 日(火) 14:00～19:00

会 場：ドーンセンター 大会議室（Zoom によるオンライン併用）

内容と講師：

開会挨拶

講義①（基礎編）

藤澤 和謙（京都大学）

講義②（実践・演習編）

珠玖 隆行（東京都市大学）

閉会挨拶

交流会

参 加 人 数：21 名

2024 年度 地盤工学会誌 連載講座 「Shall we start データ駆動地盤工学？～ベイズ・機械学習を中心として～」を学ぶ講習会（第 3 回）

ー地盤工学のためのベイズモデリング ～地盤のモデリングからデータ同化までー

日 時：2025 年 2 月 20 日(木) 14:00～19:00

会 場：ドーンセンター 大会議室（Zoom によるオンライン併用）

内容と講師：

開会挨拶

講義①（基礎編）

珠玖 隆行（東京都市大学）

講義②（実践・演習編）

藤澤 和謙（京都大学）、珠玖 隆行（東京都市大学）

閉会挨拶

交流会

参 加 人 数：21 名

【4】若手セミナー

第 15 回若手セミナー

日 時：2024 年 11 月 22 日（金）14:00～18:00

会 場：ドーンセンター 大会議室（Zoom によるオンライン併用）

内容と講師：

開会挨拶

講演「ブータンの橋梁・道路事情および地盤に関する諸事情について」

鈴木 威（ショーボンド建設株式会社、元 阪神高速道路株式会社）

講演「精神的ストレスへの対処についてーストレスフルの時代を生き抜く皆さんへー」

古川 博一（元 国土交通省）

閉会挨拶

交流会

参加人数：17 名

【5】見学会

現場見学会 一新名神高速道路 宇治田原トンネル・城陽スマート IC・城陽高架橋ー

日 時：2024 年 7 月 9 日（火）12:15～16:00

会 場：新名神高速道路（京都府域）

内 容：

事業概要・施工方法についての説明、現在の施工状況の説明

宇治田原トンネル東（坑内）、城陽スマートインターチェンジ予定地、城陽高架橋を見学

参加人数：27 名

【6】実技セミナー

第 66 回実技セミナー 「地盤改良工法(固結工法)の原理・設計・施工入門」

日 時：2024 年 6 月 5 日（水）9:55～17:05

会 場：ドーンセンター 中会議室

内容と講師：

（講義）固結工法の原理

島野 嵐（三信建設工業(株)）

浅層・深層混合処理工法の設計・施工

（演習）深層混合処理工法の設計演習・解説

藤本 哲生（大阪工業大学）

村田 淳（鹿島建設(株)）

（講義）薬液注入工法の設計・施工

鈴木 喜久（日本グラウト協会）

（演習）薬液注入工法に関する実験

大西 高明（日本グラウト協会）

参加人数：20 名

【7】シンポジウム

Kansai Geo-Symposium 2024 ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウムー

日 時：2024 年 11 月 29 日（金）9:00～18:20

会 場：関西大学 100 周年記念会館

内 容：

開会挨拶

木村 博規（(公社)地盤工学会関西支部 支部長）

大島 昭彦（地下水地盤環境に関する研究協議会 座長）
基調講演「GNSS 観測から明らかになった能登半島の地殻変動と地震発生メカニズム」

西村 卓也（京都大学防災研究所）

セッション1：地下水地盤環境・現地調査 座長：柏谷 公希（京都大学大学院）

セッション2：「斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築と
その利活用方法に関する研究委員会」特別セッション

座長：鳥居 宣之（神戸市立工業高等専門学校）

セッション3：防災・減災対策，解析・予測推定手法，その他

座長：野並 賢（神戸市立工業高等専門学校）

セッション4：地下水解析・室内試験

座長：加藤 智大（京都大学大学院）

セッション5：室内/現場試験・調査・施工技術・現場計測技術

座長：鍋島 康之（明石工業高等専門学校）

セッション6：「夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会」特別セッション

座長：大島 昭彦（大阪公立大学）

参加人数：104名

1. 2 委員会・研究会報告

【1】研究委員会

① 夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会

目的等：大阪ベイエリアに位置する夢洲は，大阪万博や統合型リゾートの用地として今後建設事業の増加が見込まれているが，その極めて複雑な地盤構造に起因し様々な工学的課題を有している。例えば，地盤構造の不均質性や下部洪積層の沈下等の問題は，今後の各種構造物の設計や施工に大きく影響するものであることから，迅速かつ確実に事業を実施するためにも，産学官の知識と技術を集結し早急に解決する必要がある。そこで本委員会では，産学官で横断的にメンバーを募集し，上記事業の円滑な実施の一助となるべく，1) 過去の埋立て履歴や既存データの整理，2) 現場試験の実施と評価，3) 地盤構造のモデル化，4) 地盤情報に基づく沈下予測，等を行った。

全体会合3回を開催し，活動方針と現有成果の共有を行い活発な議論を行った。

委員長：大島 昭彦（大阪公立大学）

委員数：49名

開催回数：全体会議3回，幹事会1回

② 斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会

目的等：近年の豪雨や地震によって毎年のように斜面災害による人的被害が発生している。このような問題の解決を目指して，これまで地盤工学会関西支部の調査研究委員会が継続的に研究され，斜面災害のリスク低減に関する提案がなされてきた。その提案を実行する形で斜面災害リスク軽減のための新たなハザードマップとしての「4D多層型ハザードマップ」の構築とその利活用方法について研究するための研究委員会を立ち上げた。具体的な研究活動としては，1) マップに掲載する現地計測データの検討と収集（Keywords：モニタリング技術，データマイニング，IoT など），2) 計測データやシミュレーション結果

に基づく斜面危険度評価方法の検討（Keywords：モニタリング，シミュレーション技術，斜面危険度評価手法，AI など），3）マップの利活用・教育・普及方法の検討（Keywords：情報発信技術，防災教育，市民参加型モニタリング など）について最新の情報を共有し，実践を交えた研究活動を開始している。本年度は，現地計測データ検討部会，斜面危険度評価方法検討部会，HM の利活用検討部会の 3 つの部会に分かれて活動を進め，全体委員会での調整や議論を活発に進めた。

委員長：鳥居 宣之（神戸市立工業高等専門学校）

委員数：42 名

開催回数：全体会議：3 回、各部会：9 回、座談会：1 回

【2】地域地盤研究会

①福井地域地盤研究会

目的等：福井地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、福井地域内の活動をより活発にするため、計 2 回の講演会を実施した。これら講演会は、福井県建設技術公社との共催、NPO 福井地域地盤防災研究所の後援を受けている。

委員長：荒井 克彦（福井大学名誉教授）

委員数：100 名

開催回数：2 回	2024 年 8 月 7 日(水)	第 90 回福井地域地盤研究会（調査報告会）
	2025 年 1 月 17 日(金)	第 91 回福井地域地盤研究会（講演会）

②和歌山地域地盤研究会

目的等：和歌山地域の地盤に関する災害調査等を必要に応じて実施する。

委員長：江種 伸之（和歌山大学）

開催回数：災害調査等はなし

③滋賀地域地盤研究会

目的等：滋賀地盤講演会、定例勉強会、見学会等を実施することにより、滋賀地域の地盤に関する研究推進や人的交流を一層深め、滋賀地域内の活動を活性化することを目的とする。

委員長：深川 良一（立命館大学）

委員数：22 名

開催回数：1 回 2024 年 6 月 28 日(金) 第 37 回滋賀地盤講演会

【3】地盤工学広報企画委員会

目 的 等：関西支部地域に在住する一般市民や小・中・高校生を主たる対象とし、土や地盤に関連する様々な事柄について興味と関心を持ってもらい、地盤工学に関する関心を高めることにより社会貢献を行うことを目的に、種々の活動を行った。また、ホームページ上で広報企画委員会の予定行事のお知らせと参加募集、行事实施報告の掲載と適宜更新などを行った。

委 員 長：野並 賢（神戸市立工業高等専門学校）

委 員 数：11名

開 催 回 数：委員会（2回）、幹事会（2回）、ふるさと地盤診断ウォーク（2回）、出前授業（2回）、学生対象見学会（3回）

「ふるさと地盤診断ウォーク」

①日 時：2024年10月27日(日) 10:00～15:30

行 き 先：大阪ベイエリアコース

講 師：北田奈緒子（G R I 財団）

参 加 人 数：5名

②日 時：2024年11月16日(土) 9:30～13:30

行 き 先：奈良若草山コース

講 師：松岡数充（長崎大学名誉教授）、北田奈緒子（G R I 財団）

参 加 人 数：8名

「出前授業」

①実施日時：2024年5月21日（火）14:55～16:25

出 前 先：京都ノートルダム女子大学（京都市左京区）

受 講 者：「環境教育」の受講学生13名

授業題目：三歳児から大人まで、泥だんごを両手で体感科学

講 師：水野克己（地域地盤環境研究所）

②実施日時：2024年5月30日（木）10:45～12:15

出 前 先：大阪大谷大学 教育学部（富田林市錦織北）

受 講 者：こども保育専攻「環境教育」の受講学生20名

授業題目：三歳児から大人まで、泥だんごを両手で体感科学

講 師：水野克己（地域地盤環境研究所）

「学生対象見学会」

①実施日時：2024年6月5日(水)10:00～12:00

参加者：大阪市立都島工業高校都市工学科3年生50名、教職員4名

見学先：淀川左岸線（2期）事業 豊崎工区換気所新築及び開削トンネル・下部工事

②実施日時：2024年7月4日(木)12:00～14:00

参加者：近畿大学社会環境工学科1年33名、教職員3名

見学先：なにわ筋線南海新難波分岐 T 及び千日前通シールド T 土木工事

③実施日時：2024 年 10 月 24 日(木)10：45～14：00

参加者：大阪府立都島工業高等学校 都市工学科 3 年生 44 名、教職員 2 名

見学先：狭山池ダム 大阪府立狭山池博物館

【4】表彰委員会

目 的 等：支部活動の活性化等を図るため、支部会員の地盤工学の学術・技術の向上・普及に
貢献した活動を表彰する制度に対し、その選考を行う。

委 員 長：鳥居 宣之（神戸市立工業高等専門学校）

委 員 数：7 名

開 催 回 数：1 回（委員会 1 回、ヒアリング・選考会 1 回）

1. 3 総会・役員会等報告

【1】総会

2024 年度支部通常総会

日 時：2024 年 4 月 26 日(水) 17:00～18:00

会 場：ドーンセンター

参 加 者 数：279 名（出席者 103 名、委任状出席者 176 名）

【2】顧問懇談会

日 時：2024 年 9 月 18 日(水) 11:30～12:30

会 場：対面（ドーンセンター）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

【3】商議員会

・第 1 回商議員会

日 時：2024 年 9 月 18 日（水）16:00～17:00

会 場：対面（ドーンセンター）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

・第 2 回商議員会

日 時：2025 年 4 月 24 日(木) 13:00～14:30

会 場：大阪市中心公会堂

【4】幹事会

開 催 回 数：4 回

【5】支部活性化 WG

開催回数：4回

【6】代議員懇談会

日時：2024年9月18日（水）14:00～16:00

会場：対面（ドーンセンター）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

【7】合同委員会

・第1回合同委員会

日時：2024年6月27日（木）15:00～16:30

会場：対面（ドーンセンター）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

・第2回合同委員会

日時：2025年1月23日（木）14:00～16:00

会場：対面（ドーンセンター）とオンライン（Zoom）のハイブリッド

第2号議案 2024年度決算報告(案)

貸借対照表

公益目的事業会計（2025年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	261,292	570,712	△ 309,420
未収金	12,285	0	12,285
前払金	396,325	212,601	183,724
預け金	63,039,558	61,049,604	1,989,954
流動資産合計	63,709,460	61,832,917	1,876,543
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
土地	13,109,000	13,109,000	0
建物	2,144,649	2,687,277	△ 542,628
什器備品	488,808	758,132	△ 269,324
その他固定資産合計	15,742,457	16,554,409	△ 811,952
固定資産合計	15,742,457	16,554,409	△ 811,952
資産合計	79,451,917	78,387,326	1,064,591
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	705,175	66,695	638,480
前受金	228,000	270,000	△ 42,000
賞与引当金	80,000	80,000	0
流動負債合計	1,013,175	416,695	596,480
負債合計	1,013,175	416,695	596,480
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	78,438,742	77,970,631	468,111
正味財産合計	78,438,742	77,970,631	468,111
負債及び正味財産合計	79,451,917	78,387,326	1,064,591

財産目録

公益目的事業会計（2025年 3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	預金	振替貯金		186,260
		その他	運転資金として	186,260
		普通預金		75,032
		三井住友銀行 天満橋支店（普通）	運転資金として	75,032
	未収金			12,285
	2024年度分		ファイヤーウォールリース返金分等	12,285
	前払金			396,325
	その他		総会会場費、講演会会場費等	396,325
	預け金			63,039,558
	本部		運転資金として	26,334,833
	特定資産（みずほ3029370）		周年記念事業、事務所取得に備えたもの	36,704,725
流動資産合計				63,709,460
(固定資産)	その他固定資産			
		土地		13,109,000
		ストークビル天満橋801号室		13,109,000
		建物		2,144,649
		取得原価		29,726,000
		減価償却累計額		△ 27,581,351
		什器備品		488,808
		取得原価		1,003,321
		減価償却累計額		△ 514,513
固定資産合計				15,742,457
資産合計				79,451,917
(流動負債)	未払金			705,175
	2024年度分		書籍データ化委託費等	705,175
	前受金			228,000
	その他		2025年度総会後交流会費	228,000
	賞与引当金			80,000
流動負債合計				1,013,175
負債合計				1,013,175
正味財産				78,438,742

正味財産増減計算書

公益目的事業会計（2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	1,006,100	760,000	246,100
調査研究・基準事業収益	702,600	495,000	207,600
講演会等収益	204,600	0	204,600
シンポジウム収益	399,000	420,000	△ 21,000
見学会収益	74,800	47,500	27,300
若手セミナー収益	24,200	27,500	△ 3,300
技術推進事業収益	303,500	265,000	38,500
講習会収益	148,500	121,000	27,500
実技セミナー収益	155,000	144,000	11,000
受取助成金	0	709,600	△ 709,600
受取民間助成金	0	709,600	△ 709,600
その他	0	709,600	△ 709,600
雑収益	1,128,163	336,063	792,100
受取利息	223	3	220
その他	223	3	220
雑収益	1,127,940	336,060	791,880
課税	1,127,940	336,060	791,880
本部交付金	10,440,000	10,360,000	80,000
経常収益計	12,574,263	12,165,663	408,600
(2) 経常費用			
事業費	12,106,152	10,160,902	1,945,250
賞与引当金繰入額	80,000	80,000	0
臨時雇賃金	3,672,677	3,709,059	△ 36,382
法定福利費	441,140	473,857	△ 32,717
雇用保険	25,255	26,821	△ 1,566
労災保険	11,240	10,752	488
健康保険	135,143	144,212	△ 9,069
介護保険	20,912	25,508	△ 4,596
厚生年金	248,590	266,564	△ 17,974
福利厚生費	2,319	3,172	△ 853
福利厚生費	2,319	3,172	△ 853
会議費	245,240	238,520	6,720
旅費交通費	49,540	124,944	△ 75,404
通信運搬費	371,025	336,646	34,379
減価償却費	811,952	787,817	24,135
建物	542,628	542,628	0
什器備品	269,324	245,189	24,135
消耗什器備品費	536,255	107,009	429,246
修繕費	80,880	98,909	△ 18,029
印刷製本費	17,705	142,120	△ 124,415
光熱水料費	190,748	167,658	23,090
賃借料	797,871	787,672	10,199
会場使用料	910,956	707,274	203,682
保険料	46,493	57,648	△ 11,155
諸謝金	871,980	902,730	△ 30,750
委託費	990,401	330,000	660,401
支払手数料	109,260	114,965	△ 5,705
雑費	1,879,710	990,902	888,808
経常費用計	12,106,152	10,160,902	1,945,250
評価損益等調整前当期経常増減額	468,111	2,004,761	△ 1,536,650
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	468,111	2,004,761	△ 1,536,650
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	△ 1
什器備品除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
当期一般正味財産増減額	468,111	2,004,760	△ 1,536,649
一般正味財産期首残高	77,970,631	75,965,871	2,004,760
一般正味財産期末残高	78,438,742	77,970,631	468,111
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	78,438,742	77,970,631	468,111

2025 年 4 月 16 日

公益社団法人 地盤工学会関西支部
支 部 長 木村 博規 殿

公益社団法人 地盤工学会関西支部

支 部 監 事 進士 喜英



公益社団法人 地盤工学会関西支部

支 部 監 事 皿海 章雄



監 査 報 告 書

私たちは、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの 2024 年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を実施するとともに、収支計算書および貸借対照表等の計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、商議員会および幹事会等に出席して、幹事からの業務執行報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 2024 年度支部会計の収支計算書および貸借対照表等は会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況および財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 2024 年度事業報告の内容は真実であると認める。
- (3) 役員の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 2025年度支部役員改選 (案)

(◎印 新任)

役職名	氏 名	所 属 名	役職名	氏 名	所 属 名
◎支部長	田中 利光	阪神国際港湾(株)	◎	太田 里佳	復建調査設計(株)
副支部長	田山 聡	西日本高速道路(株)	◎	岸田 誠司	鹿島建設(株)
	長谷川憲孝	神戸市港湾局	◎	上月 健司	(株)大林組
◎	鳥居 宣之	神戸市立工業高等専門学校	◎	薮 直樹	大阪市高速電気軌道(株)
顧問	片瀬 貴文	元中央復建コンサルタンツ(株)	◎	島本恵梨子	(株)奥村組
	西田 一彦	関西大学名誉教授	◎	田中 貴人	国際航業(株)
	平峯 悠	NPO法人 地域デザイン研究会	◎	中西 弘	(株)竹中土木
	松井 保	(一財)災害科学研究所理事長、大阪大学名誉教授	◎	中野 尊之	中央復建コンサルタンツ(株)
	福井 實	元大手前大学	◎	八谷 誠	(協組) 関西地盤環境研究センター
	仙波 惇	いであ(株)技術顧問	◎	林 訓裕	阪神高速道路(株)
	星野 鐘雄	NPO法人 地域デザイン研究会	◎	松元 大樹	中央開発(株)
	沖村 孝	(一財)建設工学研究所、神戸大学名誉教授	◎	宮川 知也	日本製鉄(株)
	大西 有三	(一社)ドローン測量教育研究機構、京都大学名誉教授	◎	安原 英明	京都大学
	古土井光昭	Port Engineering Network			
	嘉門 雅史	(一社)環境地盤工学研究所理事長、京都大学名誉教授	◎幹事長	肥後 陽介	京都大学
	中島 裕之	元阪神高速技術(株)	幹 事	岩井 裕正	京都大学
	奥田 剛章	ニシキコンサルタント(株)		長田友里恵	ケミカルグラウト(株)
	田中 泰雄	UTAR大学土木工学科教授、神戸大学名誉教授		河田 晃靖	東洋建設(株)
	霜上 民生	(株)近畿地域づくりセンター		木村 裕貴	中央復建コンサルタンツ(株)
	岡 二三生	京都大学名誉教授		後藤 浩司	阪神電気鉄道(株)
	松田 好史	西日本旅客鉄道(株)		小柳 勇也	錦城護謨(株)
	池内 幸司	(一財)河川情報センター、東京大学名誉教授		西吉 永一	(株)竹中工務店
	谷本 光司	(一財)近畿建設協会		藤本 哲生	大阪工業大学
	内田 一徳	神戸大学名誉教授		村田 淳	鹿島建設(株)
	橋本 正	(株)地域地盤環境研究所		山形 真央	兵庫県
	竹内 廣行	(一社)大阪府港湾協会		赤木 俊介	(株)不動テトラ
	楠見 晴重	関西大学		伊藤 真一	立命館大学
	南荘 淳	川田工業(株)		大藪 剛士	応用地質(株)
	豊田 巖	元神戸市みなと総局		加茂由紀彦	八千代エンジニアリング(株)
	大島 昭彦	大阪公立大学		木村 孔紀	西松建設(株)
	東原 純	中央開発(株)		園田 悠介	神戸大学
	東川 直正	2025年日本国際博覧会協会		財田 一真	大阪府
◎	芥川 真一	(一社)On-Site Visualization研究会代表理事、神戸大学名誉教授		利根穂志美	川崎地質(株)
	木村 博規	西松建設(株)		中村 大樹	西日本高速道路(株)
支部監事	皿海 章雄	清水建設(株)		保科 友宏	清水建設(株)
◎	小林 猛嗣	(株)建設技術研究所		水野 智亮	大成建設(株)
商 議 員	伊藤 譲	摂南大学		山内 雅基	(株)地域地盤環境研究所
	池田 憲造	関西エアポート(株)	◎	一色 康広	五洋建設(株)
	江副 哲	(株)不動テトラ	◎	緒方 奨	大阪大学
	加藤 亮輔	(株)日建設計	◎	梶原 雄哉	阪神高速道路(株)
	譽田 孝宏	(株)地域地盤環境研究所	◎	片岡 信一	NTTインフラネット(株)
	白神新一郎	錦城護謨(株)	◎	川口 育久	(株)竹中土木
	竹山 智英	神戸大学	◎	高橋 円	(株)建設技術研究所
	戸田 信親	清水建設(株)	◎	高山 裕介	神戸大学
	新村 知也	大阪ガス(株)	◎	谷口 和則	(株)大林組
	濱田 吉貞	西日本旅客鉄道(株)	◎	中藪 恭介	復建調査設計(株)
	藤森 章記	奥村組土木興業(株)	◎	野並 賢	神戸市立工業高等専門学校
	山下 隆之	神戸市	◎	山本 恭也	前田工織(株)
	山下 剛	大成建設(株)	◎	山本 奈菜	(株)オーク
◎	井上 一哉	神戸大学	◎	輪木 佑哉	大阪ガス(株)

報告事項 1. 会員数の推移

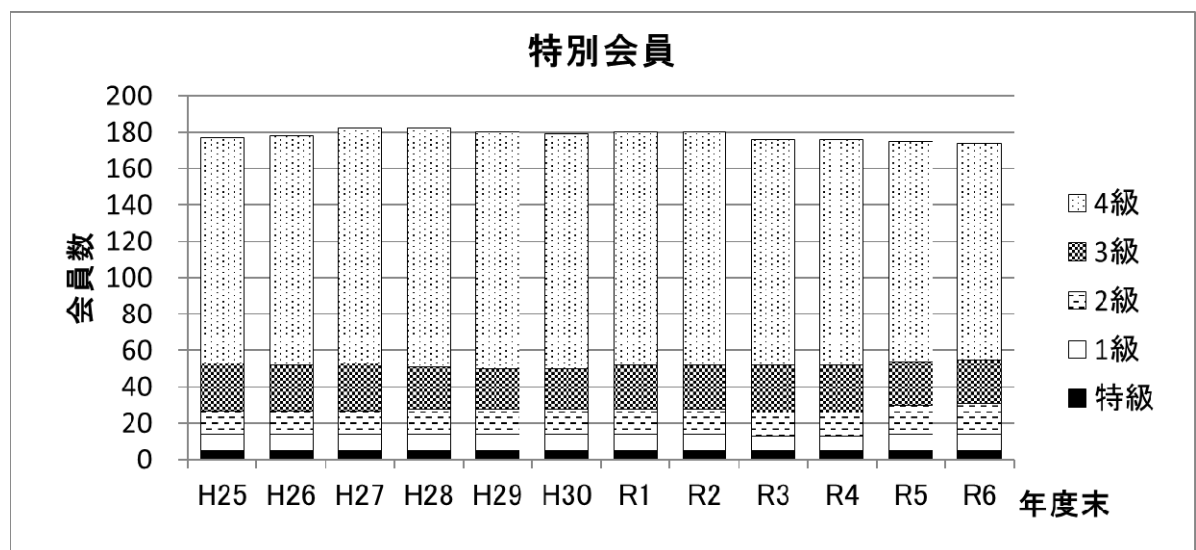
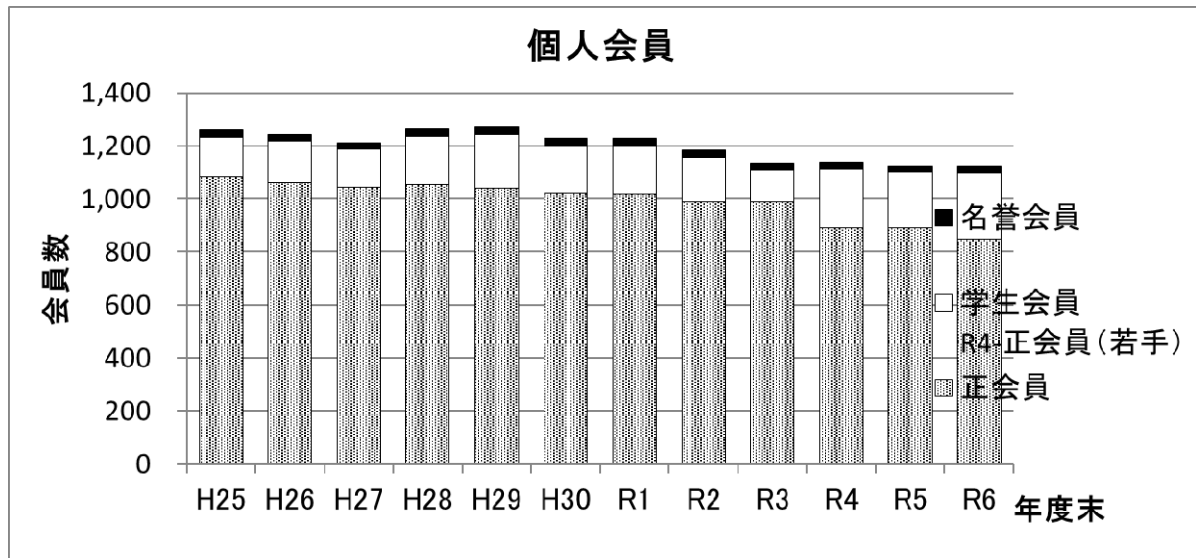
2025 年 3 月末現在の関西支部所属の名誉会員は 29 名、正会員は 848 名、正会員（若手）学生会員は 249 名、特別会員は 174 団体である。なお、関西支部所属の国際会員は特別会員 11 団体（内数）、個人会員 124（内数）である。支部の健全な発展のためには会員の増加は不可欠であり、今後とも個人会員、特別会員の増募についてご協力をお願いしたい。

（上段は2025年3月31日現在数、下段は2024年3月31日よりの増減）

	個人会員(名)				特別会員(団体)					
	名誉 会員	正 会員	正会員 (若手)	合計	特級	1級	2級	3級	4級	合計
北海道	8	334	83	425	0	1	5	5	55	66
	0	0	-6	-6	0	0	0	0	0	0
東北	7	320	58	385	0	1	1	7	36	45
	0	-22	9	-13	0	0	0	0	0	0
北陸	8	220	45	273	0	0	1	5	54	60
	0	-12	4	-8	0	0	0	0	0	0
関東	79	2,791	610	3,480	17	17	11	42	229	316
	-1	-54	67	12	6	3	-2	6	-9	4
中部	12	463	96	571	0	1	5	7	84	97
	0	-2	5	3	0	0	0	1	1	2
関西	29	848	249	1,126	5	9	17	24	119	174
	2	-42	40	0	0	0	1	0	-2	-1
中国	7	351	88	446	0	2	1	3	43	49
	0	-9	-3	-12	0	0	-1	0	0	-1
四国	3	217	49	269	1	0	1	4	24	30
	1	-2	-8	-9	1	0	0	0	-1	0
九州	15	508	130	653	0	1	2	10	75	88
	0	-12	8	-4	0	0	0	0	1	1
海外	19	30	2	51	0	0	0	0	0	0
	0	-4	1	-3	0	0	0	0	0	0
合計	187	6,082	1,410	7,679	23	32	44	107	719	925
	2	-159	117	-40	7	3	-2	7	-10	5

関西支部会員数の推移

年度末 現在	個人会員					特別会員							関西支部会員	
	正会員	学生会員 R4-正会員 (若手)	名誉会員	計	前年度差	特級	1級	2級	3級	4級	計	前年度差	合計	前年度差
H25	1,084	149	26	1,259	▲ 17	5	9	13	26	124	177	▲ 12	1,436	▲ 29
H26	1,060	159	25	1,244	▲ 15	5	9	13	25	126	178	1	1,422	▲ 14
H27	1,045	143	24	1,212	▲ 32	5	9	13	26	129	182	4	1,394	▲ 28
H28	1,055	182	26	1,263	51	5	9	14	23	131	182	0	1,445	51
H29	1,041	203	27	1,271	8	5	9	14	22	130	180	▲ 2	1,451	6
H30	1,024	176	29	1,229	▲ 42	5	9	14	22	129	179	▲ 1	1,408	▲ 43
R1	1,021	177	30	1,228	▲ 1	5	9	14	24	128	180	1	1,408	0
R2	987	169	29	1,185	▲ 43	5	9	14	24	128	180	0	1,365	▲ 43
R3	990	119	27	1,136	▲ 49	5	8	13	26	124	176	▲ 4	1,312	▲ 53
R4	892	221	26	1,139	3	5	8	13	26	124	176	0	1,315	3
R5	890	209	27	1,126	▲ 13	5	9	16	24	121	175	▲ 1	1,301	▲ 14
R6	848	249	29	1,126	0	5	9	17	24	119	174	▲ 1	1,300	▲ 1



報告事項 2. 2025 年度事業計画

1. 1 一般行事

【1】講演会

講演会は、2025 年 4 月 24 日（木）に総会時特別講演会として開催する。講師は木村 博規 2024 年度支部長の予定である。また、2025 年 4 月 26 日（土）に神戸市の後援のもと、「市民防災講演会 ～これからの防災・減災研究の最前線～」を開催する。さらに、小・中・高校生・一般市民の方々を対象にした出前授業を 5 回程度（オンライン出前授業を含む）予定している。

【2】報告会

「令和 7 年度施工技術報告会」を、(一社)日本建設機械施工協会関西支部、(一社)日本建設業連合会関西支部、(公社)土木学会関西支部との共催により開催する予定である。

【3】講習会

2024 年度の「Shall we start データ駆動地盤工学？～ベイズ・機械学習を中心として～」を学ぶ講習会に引き続き、2025 年度も新規の講習会を数回開催予定で検討中である。

【4】若手セミナー

2020 年度より、若手技術者の「基礎知識の習得」・「技術継承」・「人脈形成」の場となるよう、現役またはベテラン技術者を講師としてお招きした、双方向・多方向型の講義形式に変更しており、2025 年度も継続して 1 回実施する予定である。

【5】見学会

関西圏の大型土木事業で支部会員の関心が高い工事現場の見学会を年 1 回、対面で実施する予定である。また、「学生対象見学会」を 3 回程度、地質巡検をしながらウォーキングを行う「ふるさと地盤診断ウォーク」を秋期に 2 回実施する予定である。

【6】実技セミナー

講義、実習を通じて、地盤に関わる業務の中で用いられる試験方法や計測方法などの重要性の理解促進を目的とした実技セミナーを、年 1 回実施する予定である。

【7】シンポジウム

昨年度に引き続き、地下水地盤環境に関する研究協議会との共催で「Kansai Geo-Symposium 2025ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウムー」を開催する予定である。なお、本シンポジウムの投稿論文のうち、優れた技術あるいは研究成果、有意性を有する論文／報告については、関西支部賞の受賞対象として推薦する。

【8】その他広報活動

関西支部ホームページの更新、リーフレット改訂、およびメーリングリスト、SNS 等を活用し、多くの方々への広報を図っていく予定である。

1.2 研究委員会・研究会

【1】研究委員会

- ① データ連携による（スマート）斜面防災 DX：豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会（2025～）

委員長：小田 和広（大阪産業大学）

近年、ICT 技術によって、斜面の水分状況をリモートかつリアルタイムで観測できるようになってきている。また、衛星・画像・レーザーなどの測量技術の進歩は、斜面の表面的な変状の情報を精度良く与えるものである。一方で、自らの生活範囲における斜面の情報を非常に簡便な方法で計測する市民参加型の斜面の情報収集の取り組みも試みられている。さらに、これらの斜面に関する情報を使って、数値シミュレーションや機械学習技術で斜面の不安定性やその近未来予測に取り組んでいる研究も行われている。このように、豪雨時の斜面防災に関する研究はそれぞれの分野では進んではいるが、それらが、①市民や自治体の避難防災体制、②重要なインフラの管理者に対する情報提供、③防災箇所の特定などの緊急対応者（警察・消防署など）に必ずしも十分な情報提供を行っていないのが現状である。ところで、Society5.0 の世界では、個々のデジタル情報を連携させたデータトランスフォーメーション（DX）により、社会的課題を効率的に解決することが求められている。これを斜面防災に適用してみれば、災害前後に、その地域の特性などを踏まえ、災害・被災情報をきめ細かく予測・収集・分析することとその結果を、上記①～③のステークホルダーに対して、意思決定に資する情報提供を行うことが必要である。本研究では、広い分野から委員の参加を求め、データ連携のための情報共有プラットフォームに求められる資質・データ連携によって生み出される成果・各種ステークホルダーに対して意思決定に資する情報を提供するための各種の成果の統合化などについて研究を行う。

- ② 「夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会（2021～2024）」報告会の実施

委員長：大島昭彦（大阪公立大学）

本研究委員会では、2021 年度より 4 年間に渡り大阪ベイエリアに位置する夢洲を対象に、1) 過去の埋立て履歴や既存データの整理、2) 現場試験の実施と評価、3) 地盤構造のモデル化、4) 地盤情報に基づく沈下予測、5) 各種講演会、見学会の開催、シンポジウム等での研究成果の発信、等を行ってきた。2025 年度に本研究委員会の成果報告会を実施する。

- ③ 「斜面災害リスク軽減のための 4D 多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会（2022～2024）」報告会の実施

委員長：鳥居宣之（神戸市立工業高等専門学校）

本研究委員会では、斜面災害発生直前だけでなく日常における斜面危険度の時空間的変化情報を盛り込んだハザードマップを構築するとともに、それらを活用するための仕組みのあり方を検討することを目的とし、1) マップに掲載する現地計測データの検討と収集（Keywords：モニタリング技術、データマイニング、IoT など）、2) 計測データやシミュレーション結果に基づく斜面危険度評価方法の検討（Keywords：モニタリング、シミュレーション技術、斜面危険度評価手法、AI など）、3) マップの利活用・教育・普及方法の検討（Keywords：情報発信技術、防災教育、市民参加型モニタリング など）について最新の情報を共有し、実践を交えた研究活動を 2022 年度より 3 年間に渡り行ってきた。2025 年度に本研究委員会の成果報告会を実施する。

【2】地域地盤研究会

①福井地域地盤研究会 委員長：荒井克彦（NPO 福井地域地盤防災研究所）

福井地域地盤研究会主催の講演会，講習会，若手技術者交流会などを3回程度実施する。

②和歌山地域地盤研究会 委員長：江種伸之（和歌山大学）

和歌山地域の災害調査等を必要に応じて実施する。

③滋賀地域地盤研究会 委員長：深川良一（立命館大学）

下記の行事を実施する予定である。滋賀地盤講演会および定例勉強会に関しては，滋賀県や地質調査業会滋賀県支部との連携を強化していく。

1) 定例勉強会：2回

2) 滋賀地盤講演会：1回

3) 見学会：10月あるいは11月

1.3 総会・役員会等計画

【1】総会

2025年度通常総会を以下の要領で開催する。

日 時：2025年4月24日（木） 15：00～17：10

会 場：大阪市中央公会堂（大阪市中之島区1-1-27）

特別講演：15：00～15：50

総 会：16：00～17：10

【2】顧問懇談会

開催回数：1回

【3】商議員会

開催回数：2回

【4】幹事会

開催回数：4回

【5】支部活性化ワーキング

開催回数：4回

【6】代議員懇談会

開催回数：1回（関西支部選出の代議員と意見交換を図るため幹事会と合わせて実施する）

【7】合同委員会

開催回数：2回（研究委員会・研究会との意見交換を図るため幹事会と合わせて実施する）

【8】表彰委員会

開催回数：1回

報告事項3. 2025年度 正味財産増減予算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

関西支部

(単位：円)

科 目					合計
	公2	公3	公4	小計	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収益	969,000	248,000	0	1,217,000	1,217,000
調査研究・基準事業収益	969,000	0	0	969,000	969,000
技術推進事業収益	0	248,000	0	248,000	248,000
雑収益計	1,072,000	268,000	0	1,340,000	1,340,000
雑収益	1,072,000	268,000	0	1,340,000	1,340,000
経常収益計	2,041,000	516,000	0	2,557,000	2,557,000
(2) 経常費用					
事業費	11,053,400	2,434,600	100,000	13,588,000	13,588,000
賞与引当金繰入額	64,000	16,000	0	80,000	80,000
臨時雇賃金	3,200,000	800,000	0	4,000,000	4,000,000
法定福利費	464,000	116,000	0	580,000	580,000
福利厚生費	16,000	4,000	0	20,000	20,000
会議費	984,000	246,000	40,000	1,270,000	1,270,000
旅費交通費	837,600	157,400	10,000	1,005,000	1,005,000
通信運搬費	426,000	105,000	0	531,000	531,000
減価償却費	496,000	124,000	0	620,000	620,000
消耗什器備品費	120,000	30,000	0	150,000	150,000
修繕費	64,800	16,200	0	81,000	81,000
印刷製本費	352,000	18,000	0	370,000	370,000
光熱水料費	160,000	40,000	0	200,000	200,000
賃借料	510,000	90,000	0	600,000	600,000
会場使用料	876,000	201,000	0	1,077,000	1,077,000
保険料	43,000	4,000	0	47,000	47,000
諸謝金	724,000	132,000	0	856,000	856,000
委託費	520,000	130,000	0	650,000	650,000
支払手数料	80,000	20,000	0	100,000	100,000
雑費	1,116,000	185,000	50,000	1,351,000	1,351,000
経常費用計	11,053,400	2,434,600	100,000	13,588,000	13,588,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 9,012,400	▲ 1,918,600	▲ 100,000	▲ 11,031,000	▲ 11,031,000
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	▲ 9,012,400	▲ 1,918,600	▲ 100,000	▲ 11,031,000	▲ 11,031,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	▲ 9,012,400	▲ 1,918,600	▲ 100,000	▲ 11,031,000	▲ 11,031,000
当期一般正味財産増減額	▲ 9,012,400	▲ 1,918,600	▲ 100,000	▲ 11,031,000	▲ 11,031,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	▲ 9,012,400	▲ 1,918,600	▲ 100,000	▲ 11,031,000	▲ 11,031,000
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	▲ 9,012,400	▲ 1,918,600	▲ 100,000	▲ 11,031,000	▲ 11,031,000

資 料

1. 地盤工学会関西支部 歴代支部長・副支部長・幹事長名簿

年度	支部長	副支部長			幹事長
1958	光井 三郎	塚本 猛次	村山 朔郎		松尾新一郎
1959	三宅静太郎	稲垣 皎三	木下 真治		松尾新一郎
1960	玉井 正彰	久保田敬一	中出 定夫		松尾新一郎
1961	棚橋 諒	河村 重俊	近藤市三郎		松尾新一郎
1962	石田 一郎	松尾新一郎	川上 敏夫		伊藤 富雄
1963	村山 朔郎	菅田 豊重	福山真三郎		伊藤 富雄
1964	今岡 鶴吉	小泉 昇	沢田 敏男		伊藤 富雄
1965	畠山 實	西尾 辰雄	谷口 尚武		伊藤 富雄
1966	調 強	谷口 尚武	伊藤 富雄		三笠 正人
1967	森田 紀元	伊藤 富雄	後藤 典夫		三笠 正人
1968	松尾新一郎	小泉 昇	近藤 和夫		三笠 正人
1969	橘 好茂	近藤 和夫	中谷 三男		畠 昭治郎
1970	横尾 義貫	中谷 三男	加納 次郎		畠 昭治郎
1971	伊藤 富雄	加納 次郎	平田 定夫		畠 昭治郎
1972	南 俊次	平田 定夫	芳内 俊夫		赤井 浩一
1973	近藤 和夫	芳内 俊夫	長田 正雄		赤井 浩一
1974	沢田 敏男	長田 正雄	高村 靖		山肩 邦男
1975	谷口 尚武	高村 靖	鳥海 勲		山肩 邦男
1976	田中 茂	鳥海 勲	藤田 正和		三瀬 貞
1977	芳内 俊夫	藤田 正和	加藤 克己		三瀬 貞
1978	加納 次郎	加藤 克己	谷本 喜一		柴田 徹
1979	三露 嘉郎	谷本 喜一	竹山 喬		柴田 徹
1980	三笠 正人	竹山 喬	山肩 邦男		西田 一彦
1981	中谷 三男	山肩 邦男	中山 武宜		西田 一彦
1982	谷本 喜一	中山 武宜	中堀 和英		佐々木 伸
1983	赤井 浩一	中堀 和英	中井喜一郎		佐々木 伸
1984	三瀬 貞	中井喜一郎	柴田 徹		足立 紀尚
1985	高村 靖	柴田 徹	津垣 昭夫		足立 紀尚
1986	山肩 邦男	津垣 昭夫	前田 進		福田 護
1987	柴田 徹	前田 進	福井 實		福田 護
1988	片瀬 貴文	福井 實	平田 武弘		松井 保
1989	竹山 喬	平田 武弘	澁谷平八郎		松井 保
1990	阪口 理	澁谷平八郎	西田 一彦		長谷川高士
1991	津垣 昭夫	西田 一彦	宮永 清一		長谷川高士
1992	佐々木 伸	宮永 清一	福住 隆二		軽部 大蔵
1993	中山 武宜	福住 隆二	平峯 悠		軽部 大蔵
1994	中堀 和英	平峯 悠	足立 紀尚		澤 孝平
1995	西田 一彦	足立 紀尚	西垣 好彦		澤 孝平
1996	足立 紀尚	西垣 好彦	来馬 章雄		沖村 孝
1997	平峯 悠	来馬 章雄	福田 護	田宮 芳彦	沖村 孝
1998	松井 保	福田 護	田宮 芳彦	木山 正明	大西 有三
1999	福井 實	木山 正明	衣斐 隆志	福本 武明	大西 有三
2000	軽部 大蔵	衣斐 隆志	福本 武明	竹山 征治	佐藤 忠信
2001	仙波 惇	竹山 征治	岩崎 好規	澤 孝平	佐藤 忠信
2002	星野 鐘雄	岩崎 好規	澤 孝平	小河 保之	田中 泰雄
2003	沖村 孝	小河 保之	井上 啓司	佐藤 忠信	田中 泰雄
2004	大西 有三	井上 啓司	佐藤 忠信	武田 弘一	岡 二三生
2005	古土井光昭	武田 弘一	嘉門 雅史	松尾 節夫	岡 二三生
2006	嘉門 雅史	松尾 節夫	青山 咸康	伊藤 文平	楠見 晴重
2007	中島 裕之	青山 咸康	伊藤 文平	橋本 正	楠見 晴重
2008	奥田 剛章	橋本 正	田中 泰雄	井上 章	大津 宏康
2009	田中 泰雄	井上 章	霜上 民生	常田 賢一	大津 宏康
2010	霜上 民生	常田 賢一	松田 好史	本井敏雄/玉田尋三	澁谷 啓
2011	岡 二三生	松田 好史	榊原敏夫/安倍 茂	深川 良一	澁谷 啓
2012	松田 好史	深川 良一	河本克正/末廣正人	豊田 巖	勝見 武
2013	谷本光司/池内幸司	末廣 正人	豊田 巖	三田村宗樹	勝見 武
2014	内田 一徳	三田村宗樹	木戸 洋二	徳平 隆之	大島 昭彦
2015	橋本 正	木戸 洋二	徳平 隆之	伊藤 淳志	大島 昭彦
2016	竹内 廣行	伊藤 淳志	辻 俊一	吉井 真	芥川 真一
2017	楠見 晴重	辻 俊一	吉井 真	伊藤 譲	芥川 真一
2018	南荘 淳	伊藤 譲	木村 博規	藪内 弘	小林 晃
2019	豊田 巖	木村 博規	藪内 弘	小田 和広	渦岡 良介
2020	大島 昭彦	小田 和広	西森 正至	庄 健介	渦岡 良介
2021	束原 純	西森 正至	庄 健介	鍋島 康之	河井 克之
2022	東川 直正	鍋島 康之	中西 典明	田中 利光	河井 克之
2023	芥川 真一	中西 典明	田中 利光	岸田 潔	乾 徹
2024	木村 博規	岸田 潔	長谷川憲孝	田山 聡	乾 徹

2. 2024年度支部役員構成

(◎印 新任)

役職名	氏 名	所 属 名	役職名	氏 名	所 属 名
◎支部長	木村 博規	西松建設(株)	◎	伊藤 譲	摂南大学
副支部長	岸田 潔	京都大学	◎	池田 憲造	関西エアポート(株)
◎	田山 聡	西日本高速道路(株)	◎	江副 哲	(株)不動産テトラ
◎	長谷川憲孝	神戸市港湾局	◎	加藤 亮輔	(株)日建設計
顧問	片瀬 貴文	元中央復建コンサルタンツ(株)	◎	譽田 孝宏	(株)地域地盤環境研究所
	西田 一彦	関西大学名誉教授	◎	白神新一郎	錦城護謨(株)
	平峯 悠	NPO法人 地域デザイン研究会	◎	竹山 智英	神戸大学
	松井 保	(一財)災害科学研究所理事長、大阪大学名誉教授	◎	戸田 信親	清水建設(株)
	福井 實	元大手前大学	◎	新村 知也	大阪ガス(株)
	仙波 惇	いであ(株)技術顧問	◎	濱田 吉貞	西日本旅客鉄道(株)
	星野 鐘雄	NPO法人 地域デザイン研究会	◎	藤森 章記	奥村組土木興業(株)
	沖村 孝	(一財)建設工学研究所、神戸大学名誉教授	◎	山下 隆之	神戸市
	大西 有三	(一社)ドローン測量教育研究機構、京都大学名誉教授	◎	山下 剛	大成建設(株)
	古土井光昭	Port Engineering Network	幹事長	乾 徹	大阪大学
	嘉門 雅史	(一社)環境地盤工学研究所理事長、京都大学名誉教授	幹 事	李 俊憲	(協組)関西地盤環境研究センター
	中島 裕之	元阪神高速技術(株)		宇佐美文博	前田工織(株)
	奥田 剛章	ニシキコンサルタンツ(株)		小瀬川奉久	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング
	田中 泰雄	UTAR大学土木工学科教授、神戸大学名誉教授		澤村 康生	京都大学
	霜上 民生	(株)近畿地域づくりセンター		関川 洋介	阪神高速道路(株)
	岡 二三生	京都大学名誉教授		宗 哲仁	大阪ガス(株)
	松田 好史	西日本旅客鉄道(株)		高木 敦生	ライト工業(株)
	池内 幸司	(一財)河川情報センター、東京大学名誉教授		中島 晃司	近畿大学
	谷本 光司	(一財)近畿建設協会		長倉 健	日本工営(株)
	内田 一徳	神戸大学名誉教授		藤本 明宏	福井大学
	橋本 正	(株)地域地盤環境研究所		前田 壮亮	(株)竹中土木
	竹内 廣行	(一社)大阪府港湾協会		渡邊 聡	復建調査設計(株)
	楠見 晴重	関西大学		岩井 裕正	京都大学
	南荘 淳	川田工業(株)		長田友里恵	ケミカルグラウト(株)
	豊田 巖	元神戸市みなと総局		河田 晃靖	東洋建設(株)
	大島 昭彦	大阪公立大学		木村 裕貴	中央復建コンサルタンツ(株)
	東原 純	中央開発(株)		後藤 浩司	阪神電気鉄道(株)
	東川 直正	2025年日本国際博覧会協会		小柳 勇也	錦城護謨(株)
◎	芥川 真一	(一社)On-Site Visualization研究会代表理事、神戸大学名誉教授		西吉 永一	(株)竹中工務店
支部監事	進士 喜英	川崎地質(株)		藤本 哲生	大阪工業大学
◎	皿海 章雄	清水建設(株)		村田 淳	鹿島建設(株)
商 議 員	秋山 真吾	鹿島建設(株)		山形 真央	兵庫県
	上月 健司	(株)大林組	◎	伊藤 真一	立命館大学
	今村 雅弘	中央開発(株)	◎	大藪 剛士	応用地質(株)
	後藤 浩之	京都大学	◎	加茂由紀彦	八千代エンジニアリング(株)
	澤田 豊	神戸大学	◎	木村 孔紀	西松建設(株)
	志賀 直樹	国際航業(株)	◎	菅 章悟	(株)不動産テトラ
	薮 直樹	大阪市高速電気軌道(株)	◎	園田 悠介	神戸大学
	鶴窪 誠司	(株)竹中土木	◎	財田 一真	大阪府
	中嶋 勲雄	応用地質(株)	◎	利根穂志美	川崎地質(株)
	中野 尊之	中央復建コンサルタンツ(株)	◎	中村 大樹	西日本高速道路(株)
	中山 義久	(協組)関西地盤環境研究センター	◎	保科 友宏	清水建設(株)
	三谷 和之	日本製鉄(株)	◎	水野 智亮	大成建設(株)
	吉川 智勝	(株)建設技術研究所	◎	山内 雅基	(株)地域地盤環境研究所

3. 特別会員特典

(*)：等級別の詳細は下記の等級による特典の一覧表参照

<技術・知識・情報の収集>

1. 学会誌「地盤工学会誌」が、会員から納入された会費（購読料を含む）により、毎号、作成・配布されます。
2. 「SOILS AND FOUNDATIONS」を定期購読できます。
3. 「地盤工学ジャーナル」の配信を受けることができます。
4. メールマガジンにより常に最新の情報が得られます。
5. 本会発行図書等を会員特価でお求めいただけます。
6. 地盤工学に関するビデオテープ等の貸出しを受けられます。
7. 地盤工学研究発表会、講習会、講演会、見学会等に会員割引で参加できます(*)。
8. 図書室の無料閲覧、資料のコピー（有料）ができます。

<学会活動への参加・交流等>

1. 委員会に委員として参加する資格が得られます。
2. 国際会員になる資格が得られます。
3. 地盤工学研究発表会等催し会場でパンフレットの配布ができます。
4. 特別会員ホームページと学会ホームページのリンクができます。
5. 特別会員のイベント情報等を学会のホームページに掲載できます。
6. 学会誌「地盤工学会誌」特別会員 PR ページへ無料掲載できます（2分の1ページ）。
7. 会員職場内での研修活動を CPD プログラムとして認定します。
8. 「G-CPD メンバー」への登録ができます(*)。
9. 教育的配慮から、特別会員に所属する学生に限り、次の特典があります(*)。
 - ① 地盤工学研究発表会（全国大会）で論文発表ができます。
 - ② 学会誌「地盤工学会誌」に投稿できます。
 - ③ 「地盤工学ジャーナル」に投稿できます。

<その他>

1. 学会施設（会議室）を利用（有料）できます。
2. 関西支部主催行事等の会場でパンフレットの展示・配布ができます。

(*)【等級による特典の一覧】

	特級	1 級	2 級	3 級	4 級
講習会等行事に会員会費で参加できる人数	21 人	15 人	9 人	6 人	3 人
「G-CPD メンバー」として登録できる人数	21 人	15 人	9 人	6 人	3 人
学生が地盤工学研究発表会で論文発表できる人数	21 人	15 人	9 人	6 人	3 人
学生が学会誌「地盤工学会誌」に投稿できる人数	21 人	15 人	9 人	6 人	3 人
学生が「地盤工学ジャーナル」に投稿できる人数	21 人	15 人	9 人	6 人	3 人

「G-CPD メンバー」

1. 個人会員以外の方も「G-CPD メンバー」として登録いただき、地盤工学会継続教育システム（G-CPD システム）を利用いただけます。
2. 特に「特別会員になられている法人に勤務されている方あるいは大学に所属されている方（学生を含む）」は、「G-CPD メンバー」の初年度費用 1000 円のみで登録できる優遇措置があります(*)。

登録費用	特別会員	特別会員以外 (廃止いたしました)
初年度	1000 円／年	3000 円／年
次年度以降	無料	1000 円／年

4. 関西支部特別会員名簿（団体）

2025年3月31日 現在

【特級5団体】

団体名

株式会社大林組
鹿島建設株式会社関西支店
株式会社鴻池組
国土交通省近畿地方整備局
大成建設株式会社関西支店

【1級9団体】

団体名

株式会社浅沼組
株式会社奥村組
五洋建設株式会社大阪支店
株式会社竹中土木大阪本店
中央復建コンサルタンツ株式会社
西松建設株式会社西日本支社関西支店
株式会社日建設計
株式会社不動産トラ大阪支店
前田建設工業株式会社関西支店

【2級17団体】

団体名

株式会社大阪防水建設社
奥村組土木興業株式会社
関西エアポート株式会社
株式会社建設技術研究所大阪本社
清水建設株式会社関西支店
新関西国際空港株式会社
大幸工業株式会社
大鉄工業株式会社
中央開発株式会社関西支社
東急建設株式会社関西支店
東洋建設株式会社鳴尾研究所
戸田建設株式会社大阪支店
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社ニュージェック
兵庫県
株式会社マルイ
村本建設株式会社

【3級24団体】

団体名

大阪ガス株式会社
大阪市高速電気軌道株式会社

川崎地質株式会社西日本支社
協同組合関西地盤環境研究センター
株式会社KANSOテクノス
基礎地盤コンサルタンツ株式会社関西支社
京都大学工学研究科都市基盤システム工学・土木施工システム工学
京都大学大学院地球環境学堂
京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻施設機能工学研究室
株式会社近畿地域づくりセンター
国土交通省近畿地方整備局港湾空港部
一般財団法人GRI財団
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
大成機工株式会社
大和ハウス工業株式会社総合技術研究所
株式会社竹中工務店大阪本店
西日本高速道路株式会社
西日本高速道路株式会社関西支社
日本海工株式会社
阪神高速技術株式会社
丸五基礎工業株式会社
株式会社マルシン
三井住友建設株式会社大阪支店
株式会社吉田組土木本部

【4級119団体】

団体名

株式会社アーステック東洋
あおみ建設株式会社
株式会社浅川組
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング関西支社
株式会社アテック吉村
株式会社新井組 土木本部
株式会社エース
株式会社ADE
株式会社エステック
株式会社エヌイーエス
NTTインフラネット株式会社関西事業部
応用地質株式会社関西事務所
株式会社OSW
大阪公立大学地盤工学研究室
大阪大学大学院工学研究科社会基盤工学部門地盤工学領域
大阪湾広域臨海環境整備センター
株式会社オキココーポレーション
カネカケンテック株式会社
株式会社かんこう
関西大学環境都市工学部
キタイ設計株式会社
京都市
京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻地盤力学研究室

京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻ジオマネジメント工学講座ジオフロントシステム工学分野
京都大学防災研究所地震防災研究部門耐震基礎研究分野
京都大学防災研究所地盤災害研究部門・地盤防災解析研究分野
協和設計株式会社
株式会社共和電業大阪営業所
一般社団法人近畿建設協会
株式会社キンキ地質センター
錦城護謨株式会社
株式会社近代技研
株式会社熊谷組関西支店
ケイコン株式会社
計測技研株式会社
計測テクノ株式会社
株式会社K G S
ケミカルグラウト株式会社西日本支社関西支店
神戸市建設局
神戸市港湾局
神戸市道路公社
神戸市都市局西神整備事務所
株式会社こうべ未来都市機構
国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道工事事務所
国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所
国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所
国土交通省近畿地方整備局滋賀国道事務所
国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所
国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所
国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所
国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所
国土防災技術株式会社大阪支店
サンコーコンサルタント株式会社大阪支店
サンスイコンサルタント株式会社
株式会社ジオシステム
株式会社ジオブレーン
芝田土質株式会社
株式会社地盤調査事務所大阪事務所
株式会社修成建設コンサルタント
株式会社昭和設計
株式会社白浜試験
新生重機建設株式会社
日本製鉄株式会社大阪支社
正和設計株式会社
株式会社セーフティーアイランド
全日本コンサルタント株式会社
株式会社ソイルテクニカ大阪営業所
総合計測株式会社
株式会社ダイカ
大日本ダイヤコンサルタント株式会社関西支社
太洋エンジニアリング株式会社
株式会社田中

株式会社地域地盤環境研究所
地球観測株式会社
株式会社中研コンサルタント
鉄建建設株式会社大阪支店
株式会社テクノックス大阪営業所
東亜建設工業株式会社大阪支店
株式会社東京ソイルリサーチ関西支店
株式会社東京測器研究所大阪営業所
株式会社東畑建築事務所
東洋技研コンサルタント株式会社
内外エンジニアリング株式会社
中林建設株式会社
株式会社中堀ソイルコーナー
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
株式会社西山工務店
株式会社日建技術コンサルタント
日鉄レールウェイテクノス株式会社
日特建設株式会社大阪支店
日本基礎技術株式会社関西支店
ハイテック株式会社
ハウス技研通商株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社大阪本社
播磨地質開発株式会社
阪急設計コンサルタント株式会社
阪急電鉄株式会社
阪神高速技研株式会社
一般財団法人阪神高速先進技術研究所
阪神高速道路株式会社
阪神国際港湾株式会社
株式会社阪神コンサルタンツ
阪神水道企業団
公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター
株式会社フジタ大阪支店
復建調査設計株式会社大阪支社
平成テクノス株式会社
報国エンジニアリング株式会社
本州四国連絡高速道路株式会社
前田工織株式会社
株式会社松村組
丸泰土木株式会社大阪営業所
株式会社森組
株式会社森本組
株式会社安井建築設計事務所
株式会社山崎砂利商店
株式会社ヨコタテック
ライト工業株式会社西日本支社
若築建設株式会社大阪支店
